

タイヤ規定*に係るアンケート実施結果

*全日本ジムカーナ/ダートトライアル選手権統一規則 第2条 参加車両2)

JAFモータースポーツ部



実施概要

- ・ アンケート実施期間

2024年9月18日（水） 12：00 ～ 2024年9月25日（水） 23：45

- ・ アンケート対象

- 1) ジムカーナ競技のエントラント
- 2) ジムカーナ競技のオーガナイザー

* 全日本ジムカーナ選手権の参加、主催経験が無い方も回答可能とした。

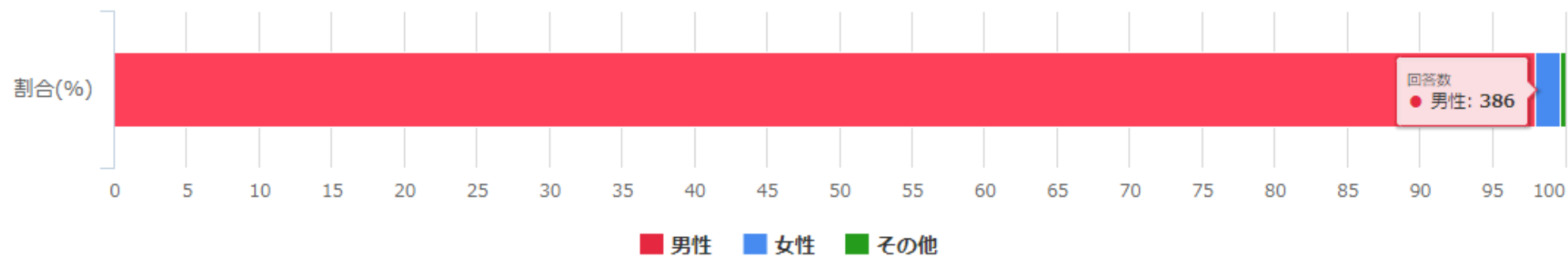
- ・ 回答数

選手：394件

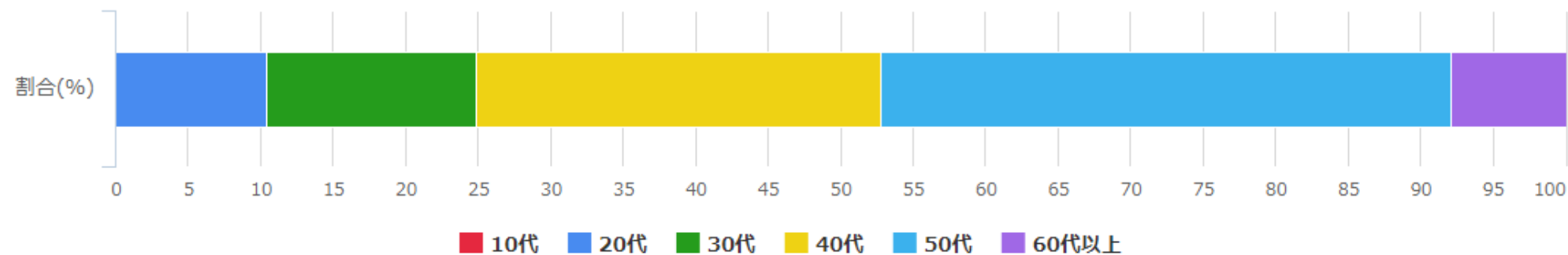
オーガナイザー：23件

回答結果 (選手)

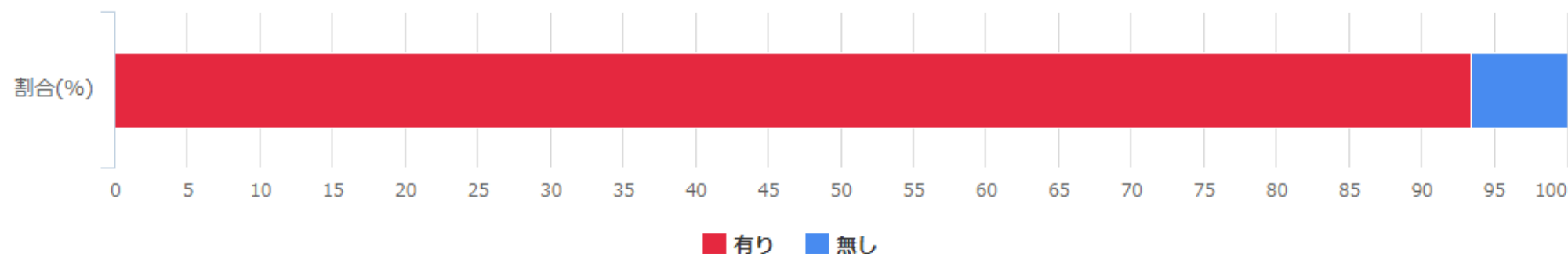
Q1 性別



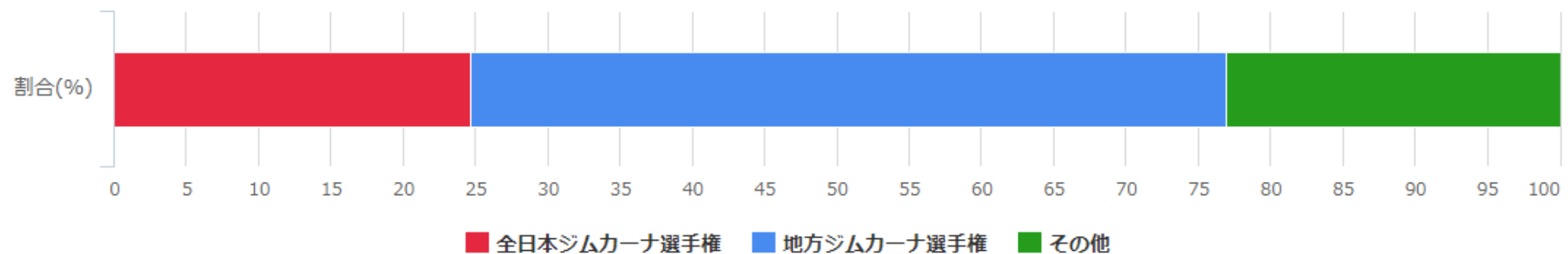
Q2 年齢



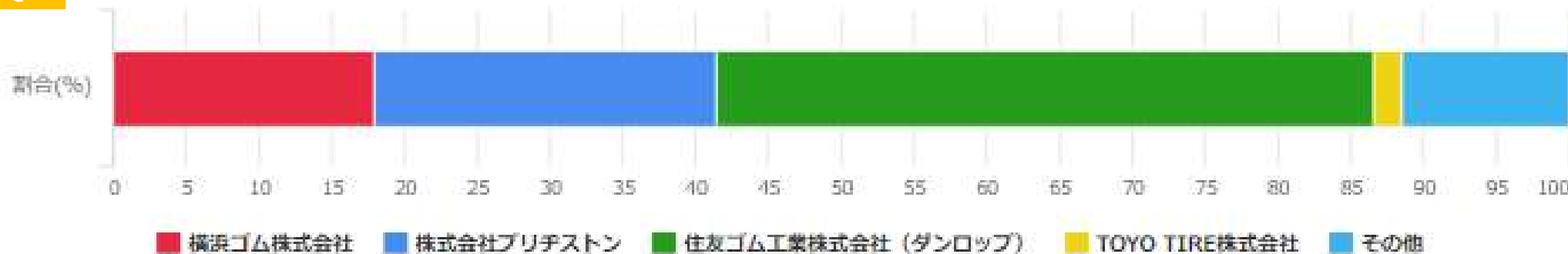
Q3 クラブ所属



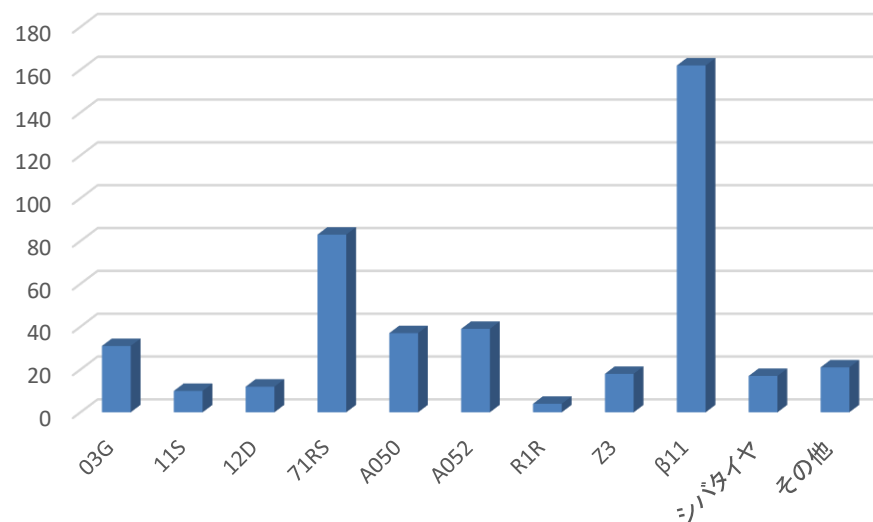
Q4 普段参加しているジムカーナ競技会（複数回答可）



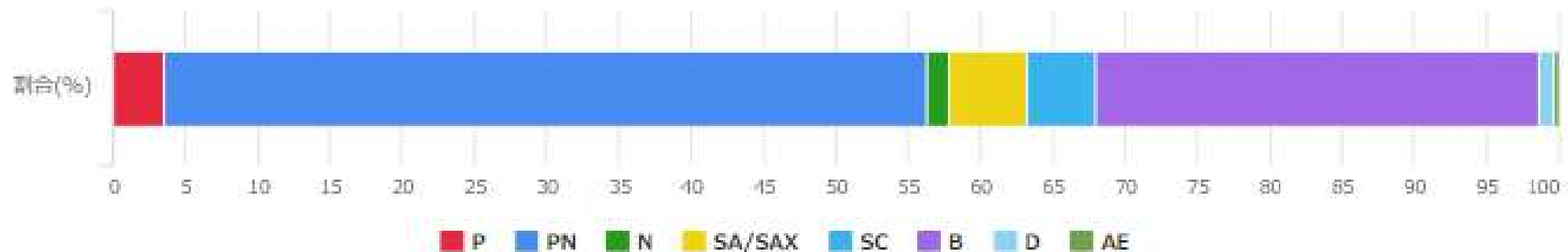
Q5 競技参加時に主に使用しているタイヤのメーカー（複数回答可）



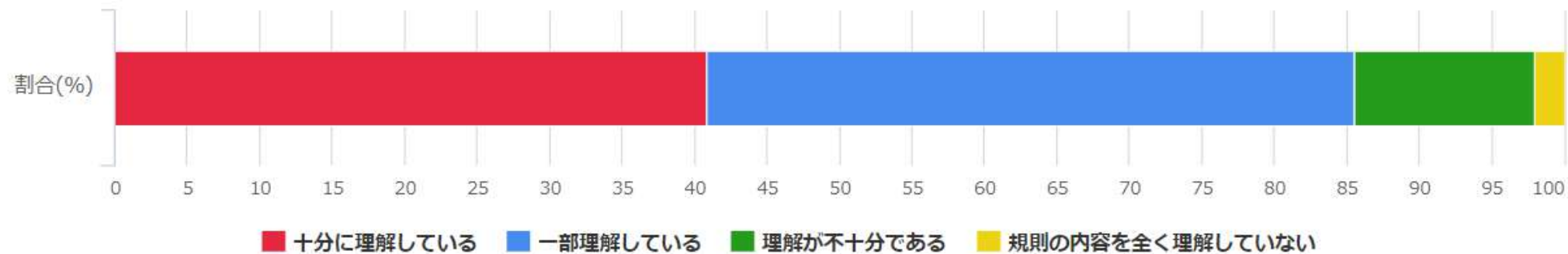
Q6 主に使用しているタイヤ銘柄（AD09,β 11,71RS等）



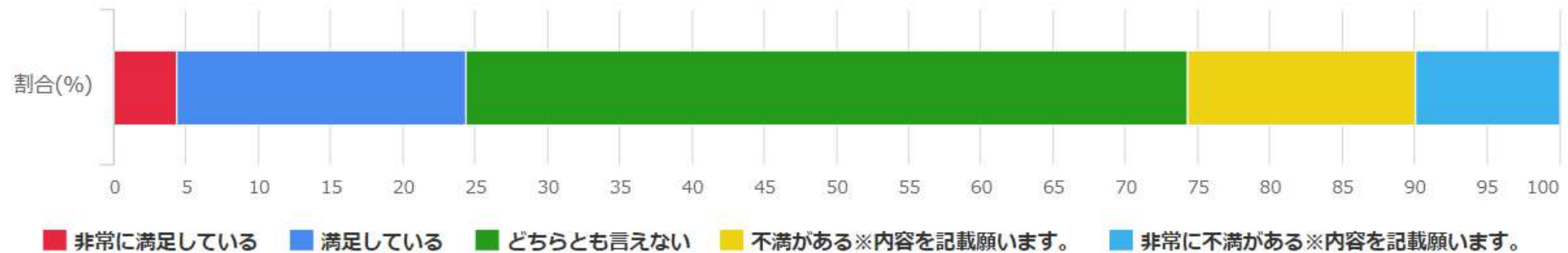
Q7 参加車両



Q8 現在の第2条2)の規則に関して、理解している内容



Q9 現在の第2条2) に対する全体的な満足度 (主要意見)



主な不満：

- ・タイヤのグリップ力が高すぎ、車両の改造範囲に対して不適切
- ・選択可能なタイヤ銘柄が少ない
- ・メーカー間のグリップ力の差が大きい
- ・接地幅などの細かい規定が理解し難い

非常に不満：

- ・グリップ力の規制が不十分で、シーズンを通して基準を満たしているか不明確
- ・タイヤ規制をUTQGトレッドウェア値に変更すべき
- ・コスト削減の効果がなく、むしろコスト増加につながっている

Q10 規則第2条2)が競技に与える影響について、どのように考えていますか？（主要意見）



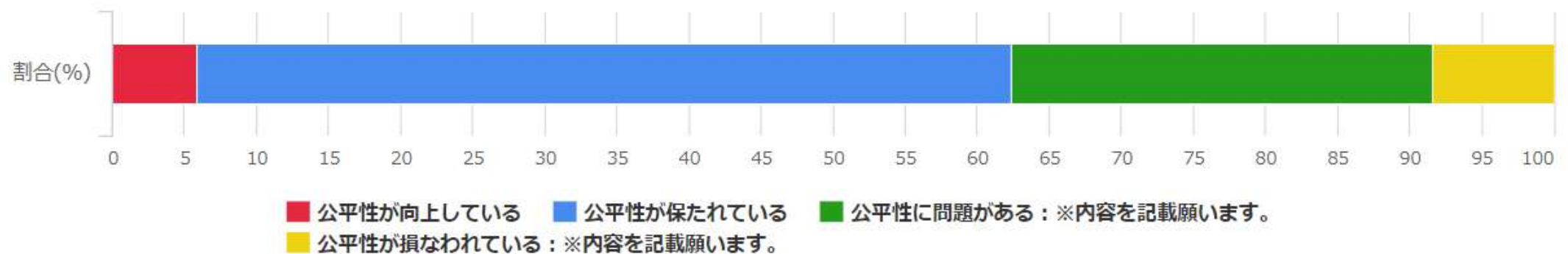
ネガティブな影響：

- ・高いグリップ力が車両への負担を増し、タイヤサイズの制限が車両選択肢を狭める
- ・タイヤ選択の幅が狭まることにより、公平性が失われていると感じる

非常にネガティブな影響：

- ・車両の負担が高く、コストも増大している
- ・特定のメーカーや銘柄が有利な規制となっている

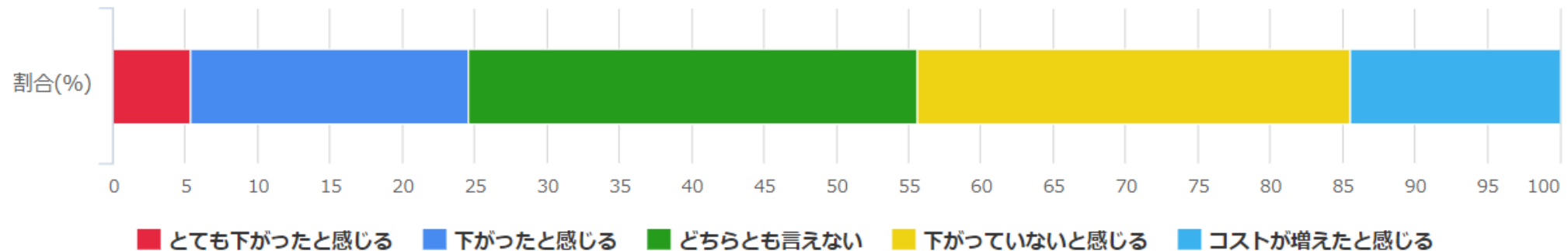
Q11 規則第2条2)が競技の公平性に与える影響について、どのように感じていますか？（主要意見）



公平性に問題がある/公平性が損なわれている：

- ・ タイヤメーカー間の差が広がり、公平性が失われている
- ・ 資金力がある選手が有利となっており、タイヤ依存が高く技術の競い合いが薄れている

Q12 本規則により競技参加におけるコストが下がったという実感があるか？



Q13 コスト上がった/下がったと感じる理由（主要意見）

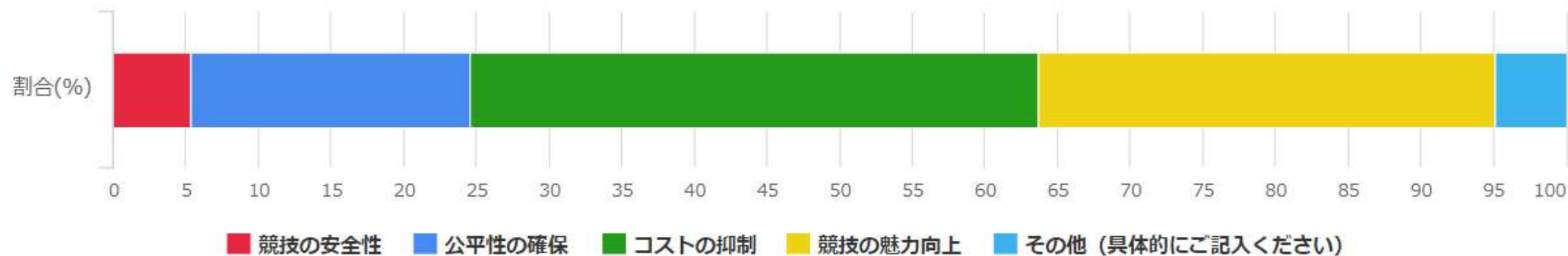
コストが下がった：

- ・耐摩耗性能の向上により使用するタイヤの数が減少している

コストが上がった：

- ・使用量の減少にもかかわらず、最近のタイヤの小売価格の上昇により、全体的なコストが上昇している。
- ・毎戦新品が必要

Q14 今後の規則改定において、最も重視すべき点

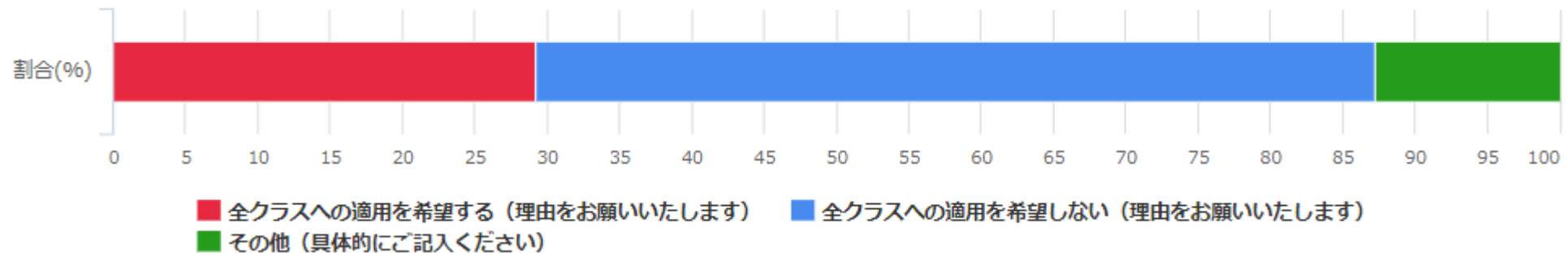


Q15 第2条2)の規則に関する改善提案やご意見があればご記入ください。(主要意見)

- ・幅広いタイヤメーカーが参入できるルール作りを行ってほしい
- ・UTQGトレッドウェア300以上の規定でコストを削減する
- ・メーカーをワンメイクにすることで、競技の公平性を保つ

など

Q16 2条2)の規則に関して適用クラスを全クラスとすることについて (主要意見)



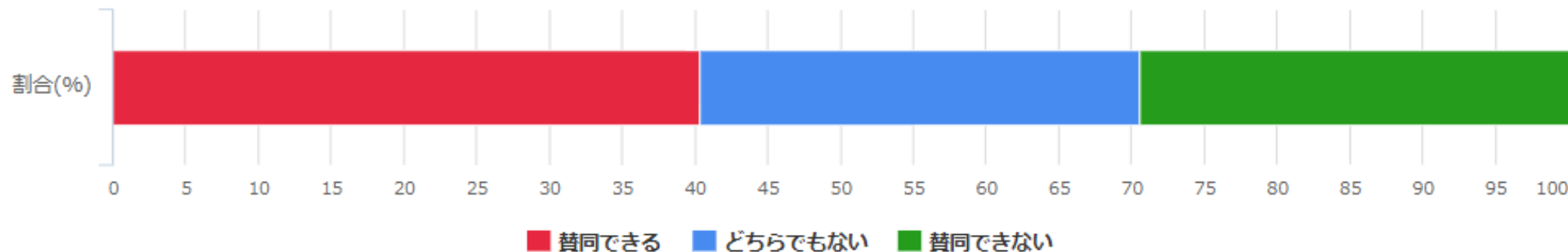
全クラス適用希望する理由：

- ・ Sタイヤは負担が大きく、スポーツラジアルに適用を広げるべき
- ・ コスト削減や環境対策を考慮し、全クラスに適用を望む

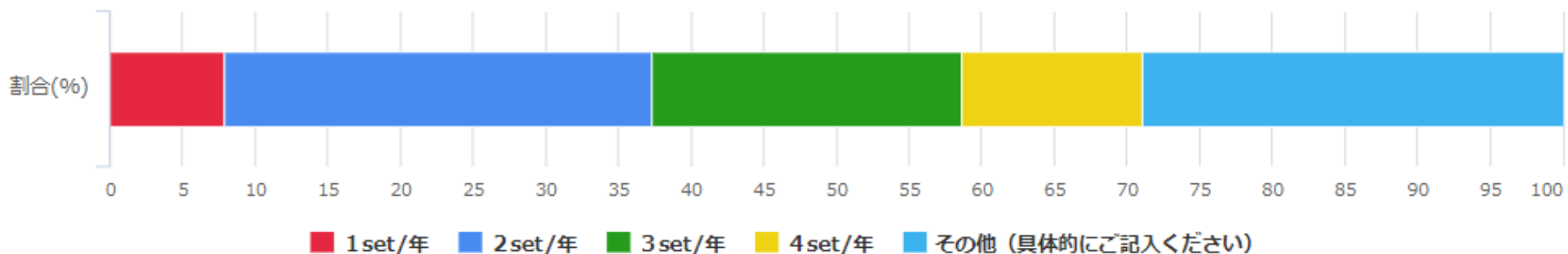
全クラス適用を希望しない理由：

- ・ 改造範囲が広いクラスでは、自由にタイヤを選択できるべき
- ・ 古い車両では、現行タイヤが装着できない場合があるため

Q17 タイヤに係る負担軽減を目的とした年間でのタイヤ本数規制について



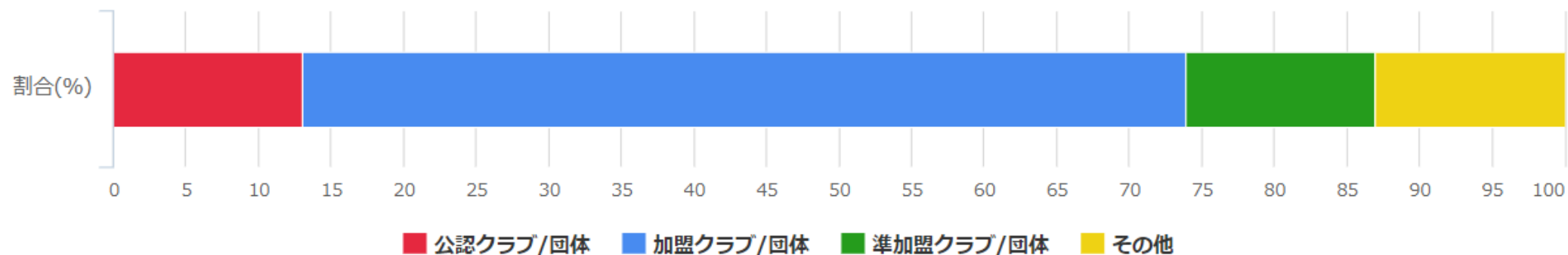
Q18 年間と通したタイヤの本数規制が多な割れる場合、どの程度が良いか



- ・ イベントの回数や開催戦数に合わせた本数規制の提案が多い
- ・ 車両ごとのタイヤ消耗度が異なるため、規制は不要という意見も見られる

回答結果（オーガナイザー）

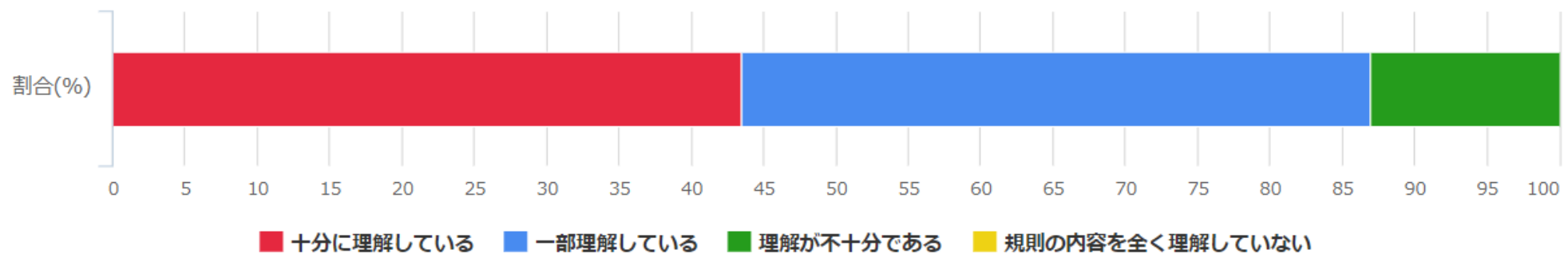
Q1 クラブ/団体種別



Q2 競技会主催/共催経験



Q3 現在の第2条2)の規則に関して、理解している内容を以下から選んでください



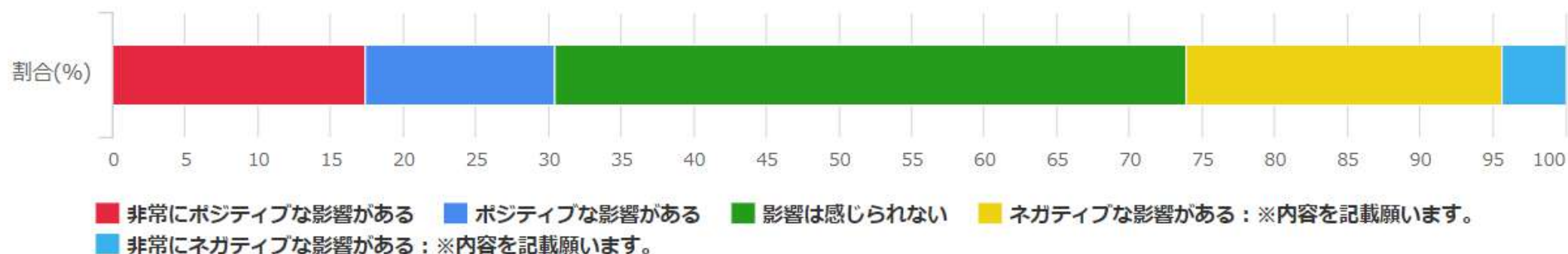
Q3 規則第2条 2) に対する全体的な満足度を教えてください



不満がある:

- ・タイヤメーカーによって差が出てしまう

Q5 規則第2条2) が競技に与える影響について、どのように感じていますか？（主要意見）



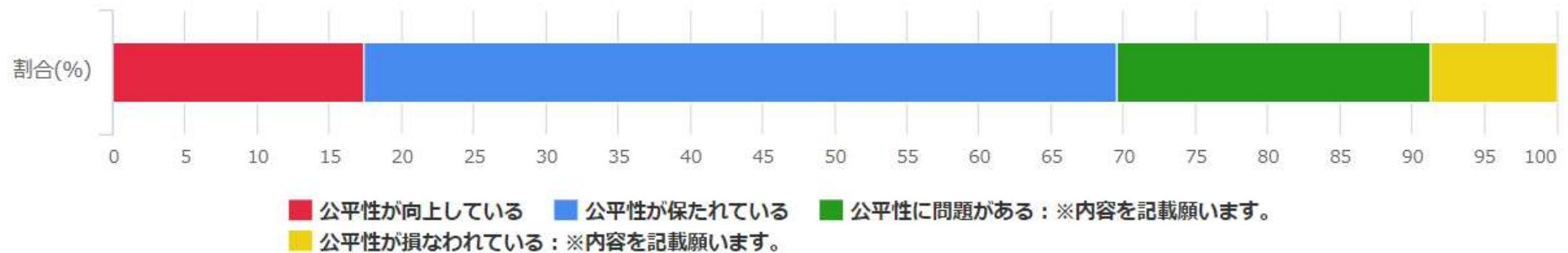
ネガティブな影響：

- ・一部メーカーにおいて、タイヤの選択肢が無い。また、特定のメーカーのみしか勝負権がない。
- ・車検時の確認が煩雑

非常にネガティブな影響：

- ・所謂PNタイヤを排除出来ず、新たなPNタイヤを生み出した。

Q6 規則第2条2) が競技の公平性に与える影響について、どのように感じていますか？ (主要意見)



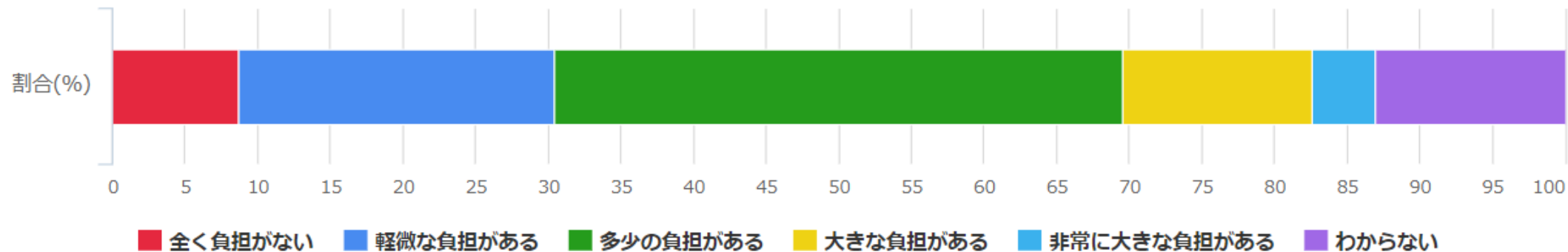
公平性に問題がある：

- ・メーカー側の問題であるが、特別なタイヤ登録しているため、メーカーの差が大きい。

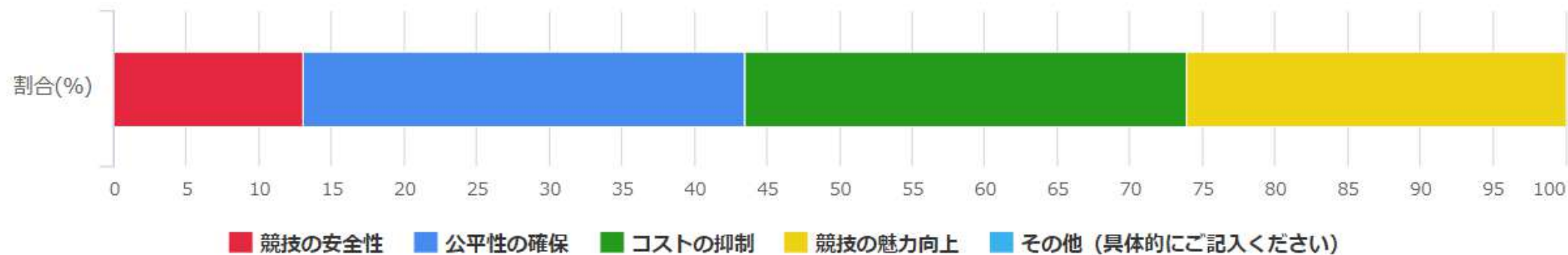
公平性が損なわれている：

- ・所謂PNタイヤを排除出来ず、新たなPNタイヤを生み出した。

Q7 規則第2条2) が主催者としての業務にどの程度負担があると思われますか？



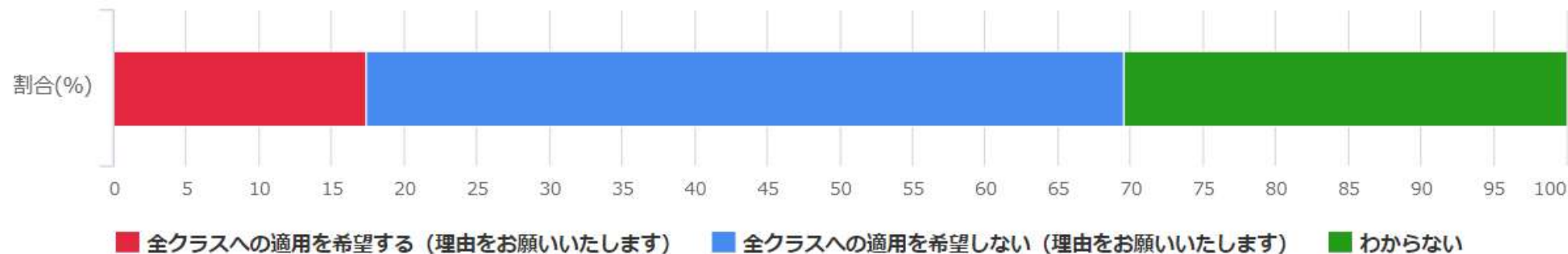
Q8 今後の規則改定において、主催者として最も重視すべき点は何だと思えますか？



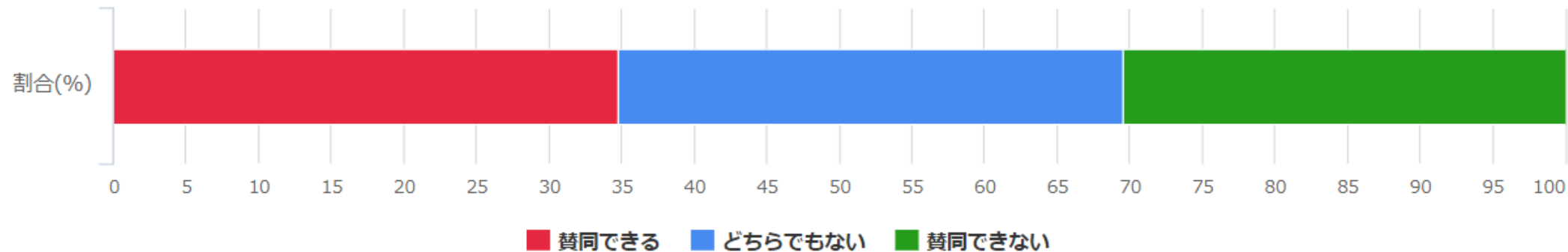
Q9 規則第2条2) に関する改善提案やご意見があればご記入ください。(主要意見)

- ・ タイヤでメーカーが偏っている。好きなタイヤメーカーのタイヤが使えないと参加者が増えない。
- ・ 競技に関しては全てSタイヤで行ったほうが、公平性が保たれると思う。
- ・ 純正装着タイヤのランク付けをして、第2条のような条件を純正タイヤにも適用していただけると、タイヤメーカーの営業部管轄の販売促進に繋がり、参加者のランニングコスト低減になる規則として展開できると思います

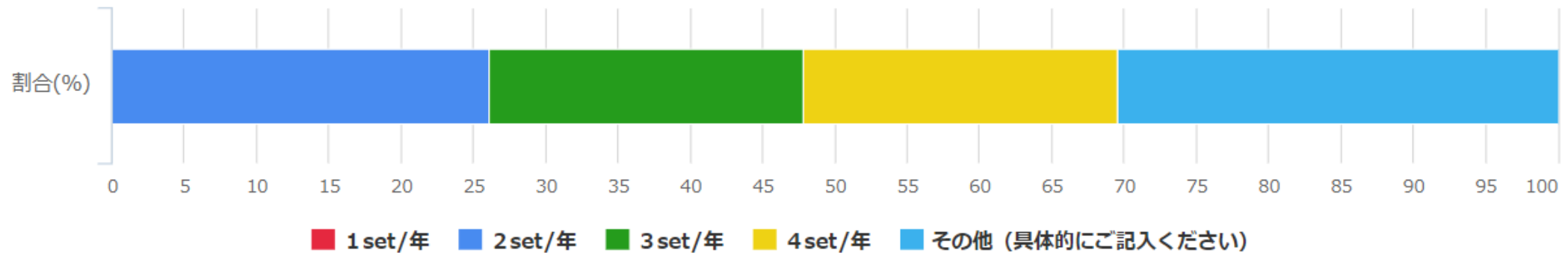
Q10 規則第2条2) に関して、適用クラスを全クラスとした場合はどう思いますか？



Q11 タイヤに係る負担削減を目的とした年間でのタイヤ本数規制についてどう思いますか？



Q12 年間でのタイヤ本数規制を行うとしたらどの程度が良いですか？（主要意見）



その他：

- ・ジムカーナにおいては、毎週のように大会や練習をしている選手がいますので、制限は難しいと思います。
- ・各主催者が異なるので、管理が難しいと思われる。
- ・地方選手権ではタイヤコストが自然に本数規制みたいな感じ、毎回新品なんてお金持ちな人はいない。
- ・年間開催戦数によって変わる
- ・規制してもメーカー系の方々には抜け道多すぎるので意味がない